

医療福祉活動演習（福祉）	【地域活動コース】
--------------	-----------

[講義・演習] 第3～4学年 通年
 選択
 [授業方法：SGD、PBLを含む]
 1単位

《担当者名》講師 / 中山 章
 准教授 / 吉田 栄一

【概要】

近年の薬剤師を取り巻く環境の変化は大きく、かかりつけ薬剤師制度など、薬剤師業務が対物中心業務から対人中心業務へと大きくシフトしている。かかりつけ薬剤師制度の中では、薬局での調剤業務の他に、医療にかかる地域活動への参画が求められており、薬剤師の地域医療へのさらなる貢献が期待されている。

本演習においては、薬剤師の医療にかかる地域活動における役割と現状について、現場で体験学習を通じて学ぶとともに地域活動における薬剤師の役割の将来性について総合的に学ぶ。

地域薬剤師会、地方自治体などで行われている、お薬相談会、医薬品の適正使用に関する講演会・展示会、薬物乱用防止啓発活動、子ども調剤体験コーナー、啓発資料の作成・配布、市民参加型シンポジウムなどにおける活動体験学習を行う。また、SGD及びPBL（又はTBL）による事前学修、演習活動報告発表会による事後学修を含めた一連の演習を通じて、薬剤師の地域活動にかかわる知識や体験のみならずチームワーク、コミュニケーション、プレゼンテーション能力も総合的に学修する。

【学修目標】

- 患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。
- 地域保健における薬剤師の役割と代表的な活動について説明できる。
- 現場での体験学習を通じて医療人としての適切なコミュニケーション能力を身につける。
- グループ学習を通じて課題をまとめ発表するプレゼンテーション能力を身につける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	体験学修に向けて具体的な内容を概説できる。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(1)- -1、A-(1)- -6、A-(1)- -7	担当者全員
2 ） 3	事前学修	薬剤師の医療にかかる地域活動における役割と現状について討議する。 【SGD/PBL】 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(1)- -1、A-(1)- -6、A-(1)- -7	担当者全員
4 ） 11	体験学修	薬剤師の医療にかかる地域活動に参加する。 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(1)- -1、A-(1)- -6、A-(1)- -7	担当者全員
12 ） 13	事後学修	体験学修した内容を、発表を通じて説明できる。 【SGD/PBL】 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(1)- -1、A-(1)- -6、A-(1)- -7	担当者全員
14 ） 15	報告発表会	体験学修した内容を、発表を通じて説明できる。 【SGD/PBL】 関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 A-(1)- -1、A-(1)- -6、A-(1)- -7	担当者全員

【授業実施形態】

面接授業
 授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

演習への取り組み態度（25%）、体験学修の評価（25%）、発表内容（25%）、最終レポート（25%）

【教科書】

適宜プリント配布

【学修の準備】

- ・事前学修では、薬剤師の医療にかかる地域活動について、インターネット等を使い、どのようなものがあるか調べて授業に臨むこと（40分）。
- ・体験学習参加前には、具体的な資料を配付するので十分に目を通し、関連する事項についても、個々に調べて体験学修に臨むこと（60分）。
- ・体験学習参加後には、体験した内容について振り返り、レポートを作成すること（240分）。
- ・事後学修では、報告発表会に向けて発表の準備をすること（120分）

【関連するモデルコアカリキュラムの到達目標】

A 基本事項

(1) 薬剤師の使命

【 薬剤師が果たすべき役割】1,6,7

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。

【実務経験】

中山 章（薬剤師）、吉田 栄一（薬剤師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での薬剤師としての実務経験を通じて得た知識・技能・態度等を活用し、実践的な教育を行う。